

「死に去るいのちではない、お浄土へと生まれ往くいのち」

テレビのサスペンスドラマなどを観ていると、刑事が「死因は〇〇だ」と言うのを聞いた  
りします。しかし、人間の本当の死因とは一体何でしょうか？因果という言葉があるように、  
全てのことには原因と結果があります。死を結果とすると、原因は何でしょうか？

私たちはなぜ死ぬのか。それは命があるから、つまり生まれてきたからです。病気や事故、  
老衰など、一般的に言われる死因は、死のご縁であり、私たちの本当の死因は生まれてきた  
ことにあります。

命があるから死を迎えるのです。命がない人に死は訪れません。しかし、私たちの命の結  
果は死であるけれど、私たちはただ死に去るいのちを生きているわけではありません。お浄土へと  
生まれ往くいのちを歩ませていただいているのです。全ての人が間違はなく、いつか命を終  
えていかねばなりません。嫌だと言っても、お金を払っても、誰も代わってくれる者はいま  
せん。今日は都合が悪いからまた今度、と時を選ぶこともできません。

そして、それは自分自身だけでなく周りの皆さんすべてがそうなのですから、悲しいお別  
れにも必ず出あわなければなりません。

その悲しさ寂しさを抱えながら生きる私たちに、俱会一処、また会える世界があるよ、さ  
ようならまたね、とお念仏を通して呼び続けてくださる南無阿弥陀仏のおはたらきがあるの  
です。

